

卒業生 INTERVIEW

神戸市立医療センター西市民病院
看護師**久米 雄朗** さん (兵庫医療大学2015年卒)

TAKERO KUME

PROFILE

兵庫医療大学 看護学部卒業後、他病院を経て神戸市立医療センター西市民病院へ入職。大学時代の男子看護師部生同士の絆は深く、今でも飲み会や登山など定期的集まっている。休日はダラダラと過ごしてしまわないようなるべく早起きし、海沿いのカフェでリフレッシュ。

患者さんの退院後の生活まで見据えた
より深く寄り添う看護を提供したい身体的なフォローだけでなく
精神的なフォローも大切に

神戸市立医療センター西市民病院9階病棟。「何でも相談できる風通しのいい病棟です。職員と患者さん、職員と職員の距離が近く、アットホームな雰囲気の中勤務させてもらっています」と語るのは、男性看護師の久米雄朗氏。同病棟で久米氏は、肺炎や肺がん、気管支喘息などの呼吸器・循環器の患者さんを中心に看護を提供している。

呼吸器の症状として多くの患者さんが訴えるのが、呼吸困難感だ。身体的なフォローはもちろん、精神的なフォローもかなり重要になる。また、HOT (Home Oxygen Therapy) という在宅酸素療法を導入するために入院する患者さんも多く、その指導や在宅療養の調整も9階病棟での大切な仕事だ。「息がしにくいのは、本当につらい。だからこそ、しっかりと患者さんに寄り添うこと。そばにいても患者さんの安心感につながるから、普段から患者さんとコミュニケーションをとるときも、タッチングといって患者さんにふれながら会話することを心がけています」。

病気を機に、看護師になることを決意

もともと建築士になるために理系を選択しており、「まさか自分が看護師になるとは思いもしなかった」という。

そんな久米氏が看護師を志したきっかけは、高校1年生のときに体位性頻脈症候群という病気にかかったこと。体調が優

れず大好きなサッカー部の練習を休んだり、保健室へ通ったりすることも多くなった。

「突然のできごとで精神的につらかったのですが、そのときに僕を支えてくれたのが家族、友人、そして病院の看護師さんでした」。通院のたびに看護師さんに励まされ、さまざまな話をするうちに「自分もいつか人を支える仕事がしたい」「病と闘う患者さんの支えになりたい」という気持ちが強くなり、医療の道へ進むことを決意した。

経験を積み重ね、より喜ばれる看護をめざす

術後にせん妄が発症した患者さんの対応や、寝たきりの患者さんの体の向きを整えるときなど、さまざまな局面において力仕事も多くある。そんなとき男性看護師がいるのは、現場にとっても心強い。また、女性看護師ばかりの病棟より、男性看護師もいる病棟のほうがよりよい人間関係が築きやすいというのは、一般的によく言われている。

久米氏は、「神戸市立医療センター西市民病院には、意識の高い男性看護師が多くいます。部署間の垣根をこえて仕事や勉強の相談にも乗ってもらえますし、男性の人数が少ないぶん成長できる環境が整っています」と教えてくれた。

「患者さんとは、入院中だけではなく、退院後の生活も考えて、入院中から関わるように」。大学時代の恩師の言葉は、今もずっと肝に銘じているという。そして将来の目標を尋ねると、「現在は病棟で患者さんの退院支援に関わらせてもらっています。そしてゆくゆくは、訪問看護で患者さんのお手伝いができればと考えています。自分が病棟で行ってきた看護を、在宅の場や地域でどう活かせるかとても興味があります」と力強い回答。

そんな久米氏のまなざしは、より深く患者さんに寄り添うための未来を、まっすぐ見つめているようだった。



MY HISTORY

私と医療大

大学4年間、苦楽を共にしたメンズナースたちです。仲間でありライバルのような存在です。彼らの存在があるからこそ、この仕事を続けられていると思います。もちろん今でも仲が良く、今年もみんなで遊びに行きます！

メンズナースのみんなと
(下から2段目左側：久米さん)





HYO-i LAB

研究紹介

全学との連携で脳内ストレス解明へ 治療と予防のさらなる向上を目指して

兵庫医科大学 内科学 糖尿病・内分泌・代謝科
主任教授 小山 英則

疾病の発症因子に脳が受ける種々のストレスの影響を加味することで、

従来の診療や健診をより効果的、根本的なものへ。

ストレスが引き起こす脳内の様々な変化が疾病とどう結び付いているのかを、

基礎・臨床の両面から解明していくプロジェクト研究

「Hyogo Innovative Challenge (以下、HIC)」が今年2月、小山主任教授の指揮で
スタートした。学内を横断する強固な研究体制で、新たな知見を世界に発信していく。



兵庫医科大学発のプロジェクトが進行

HICは兵庫医科大学を代表するプロジェクト研究として学
内の研究からテーマを選定。小山主任教授をプロジェクトリー
ダーとする「脳内ストレス顕在化の評価を通じた疾病予防戦
略と実装」をテーマに、糖尿病・内分泌・代謝科と5つの専門
領域のエキスパートが共同研究に取り組むことが決まった。
小山主任教授はこれまでの研究から、脳内ストレスを「疲労
や痛み、不眠、精神的な不安など、種々のストレスが引き起こ
す神経活動や炎症等の脳内の変化」と定義。HICでは、この
脳内ストレスの実態を解明し、その評価方法を確立したり疾
病との関わりを基に予防方法を発見したりすることをめざす。

共同研究では、生理学生体機能部門との脳内の神経活動
の評価方法の研究、核医学・PET診療部との脳内ストレスの
変動を可視化するためのPETイメージングの研究、眼科学との
脳内ストレスと網膜病変の関連を調べる研究などが進行して
いる。小山主任教授は「圧倒的に講座間の距離が近く、連携
がとてもスムーズ。兵庫医科大学ならではの良さだと思う」と実
感。強みを生かし、学内を横断した研究を加速させている。

2つのコホート研究が大きく発展

プロジェクトの基盤となるのが、小山主任教授が進めて
きた2つのコホート研究だ。一つが2010年に開始した
「Hyogo Sleep Cardio-Autonomic Atherosclerosis Study
(HSCAA study)」、もう一つが昨年からは動する「Hyogo
Diabetes Hypoglycemia Cognition Complication study
(HDHCC study)」だ。HSCAA studyは、睡眠、疲労、自律
神経などの因子が、動脈硬化や糖尿病、メタボリックシンド
ロームなどの生活習慣病の発症にどのように関与しているかを
明らかにするもの。エコーや画像診断に加え、アクティグラフを
使って睡眠の質や活動量も計測。問診だけで把握しきれない
疲労の程度を評価できるようにした。これまでの研究から、循
環器障害や腎機能低下に睡眠に関わることが分かってきた。

HDHC Cstudyでは糖尿病患者を対象に、アクティブグラ

HYO-i LAB

フによる調査、脳画像診断、アミロイドPETなどを行い、脳
内ストレスが認知機能に与える影響を調べている。

脳内ストレスへの関心が新たな研究に

2010年に兵庫医科大学に就任後、脳内ストレスと疾病の
関連性について一貫して研究を続ける小山主任教授。もとも
とは動脈硬化を主要テーマとして、発症予防に結び付く標的
因子の探索等を行っていた。

その過程で出会ったのが、持病の有無などを調整しても
問診で疲れが重いと診断された人のほうが軽い人に比べて
心臓系の疾患の発症が高いというデータだった。「驚きだっ
た。現状の医療ではこうした疲れなどの因子は危険因子とし
て介入されておらず、疾病の発症や悪化が見過ごされる原因
になっているのでは」と感じ、脳と疾病との関連を研究する
ことを決意したという。将来的に、脳内ストレスの観点を診
療の中に取り入れ、より原因に踏み込んだ診察につなげたり、
生活習慣病の管理や予防に盛り込めたりすることをめざ
す。また、産学連携によって脳内ストレスをより簡易に測定で
きる機器を開発し、健診などで活用したい考えた。

より重要性を増す内科医の育成

研究とともに診療も行う小山主任教授。「子どもの頃から
めざしていた研究に携わり、診療を通して患者さんの喜ぶ顔
を見ることができると今の環境は恵まれている」と笑顔で語
る。後進の教育にも力を注ぎ、一人一人の自主性を大事にし
た内科医、研究者の育成をめざす。

高齢化が進む今後、複数の症状を抱えた一人の高齢者を
複数の専門医で診ていくことは難しくなると予想される。だか
らこそ、「これからの内科医には内科以外の領域もしっかり診
られる能力が求められていく。疾病の予防も腕のふるいどこ
ろ。最初の防波堤になるという気概で、ぜひ内科にチャレンジ
してほしい」。研究、診療、教育で培った幅広い知見が、臨床
で求められる新しい研究と医師を育て上げている。



糖尿病・内分泌・代謝科
は 2013 年に糖尿病科と
内分泌・代謝科が統合し
て誕生。I 型糖尿病や妊
娠糖尿病、副腎に関わる
疾患など、個々の疾病に
対応した基礎研究が進
む。その上で、小山主任
教授が主導する研究など
の大規模な研究に、メン
バーが連携して取り組ん
でいる。

URAからひと言！

小山主任教授らは、現代社会の課題である“好
ましくない睡眠”に焦点を当て、それらが起
因の“脳内ストレス”と疾患発症の関連を解
明するという非常に重要な研究を進めていま
す。今後、研究成果が、予防・治療など医
療への応用に繋がることが期待されます。

【太田 英樹URAより】

URA (University Research Administrator) と
は、研究者とともに研究活動の企画やマネジメント等
を担い、研究活動の活性化に寄与する職種です。現
在、本法人には2名のURAが在籍しています。

❖2018年度(平成30年度)決算について

2018年度は、第3次中期事業計画「未来への挑戦 ―新たなステージへー」がスタートした年であり、引き続き新病院棟建設に向けた学校法人全体の健全な財政基盤を確立すべく新病院建設特定資産の組入れを行うと共に中期事業計画との整合性を図りつつ、運営の改善及び効率化を図り、持続的投資が可能な収支差額を確保できる実現可能な予算編成を基本コンセプトとし、基本金組入前当年度収支差額11.9億円確保を目標に下記重点事項を掲げました。

①教育研究棟竣工後の建物解体に伴う諸経費の支出により収支差額が圧迫されることを踏まえた、さらなる戦略的な収入確保策・徹底した支出抑制

②外部資金(寄付金、補助金、受託料、科研費等)の獲得に向けた積極的取り組み

③人件費抑制のための各種施策実施

④新病院棟建設を視野に入れた既存施設・設備の更新の抑制

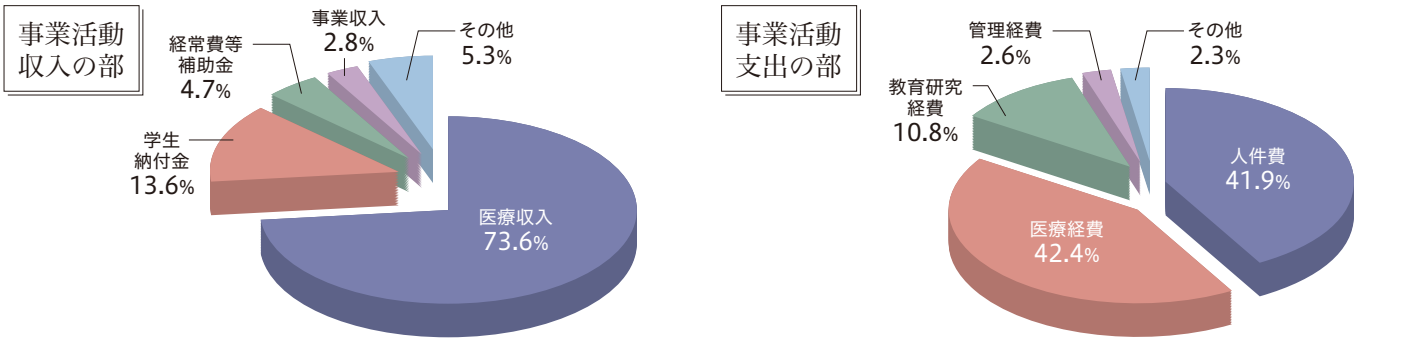
この結果、2018年度決算に係る財務諸表は、以下のとおりとなりました。

事業活動収支計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで

事業活動収入の部				事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異	科 目	予 算	決 算	差 異
学生納付金	7,606,635,000	7,670,666,660	△ 64,031,660	人件費	23,431,789,000	23,188,172,505	243,616,495
手数料	270,606,000	219,818,228	50,787,772	教職員等人件費	22,468,936,000	22,203,990,325	264,945,675
寄付金	1,810,539,000	1,730,677,789	79,861,211	退職給与引当金繰入額	894,140,000	875,691,280	18,448,720
経常費等補助金	2,338,601,000	2,672,174,820	△ 333,573,820	退職金	68,713,000	108,490,900	△ 39,777,900
国庫補助金	2,076,154,000	2,369,890,825	△ 293,736,825	教育研究経費	6,302,163,000	5,950,650,888	351,512,112
地方公共団体補助金	262,447,000	302,283,995	△ 39,836,995	医療経費	22,043,863,000	23,462,089,113	△ 1,418,226,113
付随事業収入	42,735,911,000	43,138,570,247	△ 402,659,247	管理経費	1,545,970,000	1,460,738,677	85,231,323
事業収入	1,282,166,000	1,559,895,387	△ 277,729,387	徴収不能額等	0	54,727	△ 54,727
医療収入	41,453,745,000	41,578,674,860	△ 124,929,860	教育活動支出計	53,323,785,000	54,061,705,910	△ 737,920,910
雑収入	751,035,000	852,374,821	△ 101,339,821	借入金等利息	42,198,000	43,783,564	△ 1,585,564
教育活動収入計	55,513,327,000	56,284,282,565	△ 770,955,565	その他の教育活動外支出	0	0	0
受取利息・配当金	94,107,000	121,261,069	△ 27,154,069	教育活動外支出計	42,198,000	43,783,564	△ 1,585,564
その他の教育活動外収入	0	0	0	資産処分差額	957,157,000	1,193,470,972	△ 236,313,972
教育活動外収入計	94,107,000	121,261,069	△ 27,154,069	その他の特別支出	0	17,012,603	△ 17,012,603
資産売却差額	0	0	0	特別支出計	957,157,000	1,210,483,575	△ 253,326,575
その他の特別収入	113,766,000	65,593,687	48,172,313	(予 備 費)	200,000,000		200,000,000
特別収入計	113,766,000	65,593,687	48,172,313	事業活動支出の部合計	54,523,140,000	55,315,973,049	△ 792,833,049
事業活動収入の部合計	55,721,200,000	56,471,137,321	△ 749,937,321	基本金組入前当年度収支差額	1,198,060,000	1,155,164,272	42,895,728
				基本金組入額合計	△ 1,581,020,000	△ 1,517,000,000	△ 64,020,000
				当年度収支差額	△ 382,960,000	△ 361,835,728	△ 21,124,272
				前年度繰越収支差額	△ 44,697,288,038	△ 44,697,288,038	0
				基本金取崩額	0	1,640,310,320	△ 1,640,310,320
				翌年度繰越収支差額	△ 45,080,248,038	△ 45,059,123,766	△ 1,661,434,592

収入面では、本院での入院・外来単価のアップにより前年度実績比(以下「実績比」)11.3億円増加、ささやま医療センター、ささやま老人保健施設、健康医学クリニックもそれぞれ増収となり、医療収入全体は、実績比11.9億円プラス、予算比1.2億円プラスの415.8億円となりました。また、今期から現物寄付金収入(第3号基本金組入れ)10.0億円があり、事業活動収入の合計は実績比11.6億円のプラス、予算比7.5億円プラスの564.7億円となりました。支出面では、人件費は教職員数の削減を図ったことにより、予算比2.4億円マイナスの231.9億円に抑え、教育研究経費は旧施設取り壊しによる修繕費増の影響で実績比4.0億円のプラス、予算比3.5億円マイナスの59.5億円、薬品費、医療材料費等の医療経費は実績比15.7億円、予算比14.1億円それぞれプラスの234.6億円となり、事業活動支出の合計は、実績比27.5億円プラス、予算比7.9億円プラスの553.2億円となりました。事業活動収入から事業活動支出を引いた基本金組入前当年度収支差額は実績比15.9億円、予算比0.4億円それぞれマイナスの11.6億円となりました。

2018年度決算構成比率



資金収支計算書 2018年4月1日から2019年3月31日まで

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生納付金収入	7,606,635,000	7,670,666,660	△ 64,031,660
手数料収入	270,606,000	219,818,228	50,787,772
寄付金収入	802,339,000	708,251,760	94,087,240
補助金収入	2,407,367,000	2,688,438,820	△ 281,071,820
国庫補助金収入	2,144,920,000	2,386,154,825	△ 241,234,825
地方公共団体補助金収入	262,447,000	302,283,995	△ 39,836,995
資産売却収入	1,500,000,000	1,000,000,000	500,000,000
付随事業・収益事業収入	42,735,911,000	43,138,570,247	△ 402,659,247
事業収入	1,282,166,000	1,559,895,387	△ 277,729,387
医療収入	41,453,745,000	41,578,674,860	△ 124,929,860
受取利息・配当金収入	94,107,000	121,261,069	△ 27,154,069
雑収入	751,035,000	850,754,259	△ 99,719,259
借入金等収入	108,193,000	172,308,154	△ 64,115,154
前受金収入	1,163,350,000	1,096,285,835	67,064,165
その他の収入	9,184,499,983	9,062,034,099	122,465,884
資金収入調整勘定	△ 8,883,792,351	△ 10,107,036,723	1,223,244,372
前年度繰越支払資金	15,091,272,659	15,091,272,659	
収入の部合計	72,831,523,291	71,712,625,067	1,118,898,224

資金収支については、前年度より繰り越した資金(現金預金)が150.9億円に対し、超低金利の中で少しでも利回りを確保すべくリスクの少ない債券等への投資を進めた結果、次年度への繰越資金は、142.2億円となりました。

貸借対照表 2019年3月31日

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	71,440,231,959	69,230,634,007	2,209,597,952
有形固定資産	61,848,606,499	64,744,429,012	△ 2,895,822,513
土地	15,754,173,621	15,754,173,621	0
建物・構築物	37,335,332,968	39,809,474,661	△ 2,474,141,693
教育研究用機器備品	8,091,389,139	8,304,278,297	△ 212,889,158
管理用機器備品	233,764,401	431,111,897	△ 197,347,496
図書	356,006,712	410,950,455	△ 54,943,743
建設仮勘定	53,244,000	0	53,244,000
その他	24,695,658	34,440,081	△ 9,744,423
特定資産	2,731,619,111	999,809,111	1,731,810,000
退職給与引当特定資産	1,014,801,111	799,991,111	214,810,000
教育施設設備等引当特定資産	199,818,000	199,818,000	0
第2号基本金引当特定資産	500,000,000	0	500,000,000
第3号基本金引当特定資産	1,017,000,000	0	1,017,000,000
その他の固定資産	6,860,006,349	3,486,395,884	3,373,610,465
その他	6,860,006,349	3,486,395,884	3,373,610,465
流動資産	24,213,008,729	26,048,087,287	△ 1,835,078,558
現金預金	14,221,737,715	15,091,272,659	△ 869,534,944
有価証券	545,343,500	1,545,343,500	△ 1,000,000,000
その他	9,445,927,514	9,411,471,128	34,456,386
資産の部合計	95,653,240,688	95,278,721,294	374,519,394

※注記 減価償却額の累計額 56,853,544,795円
基本金未組入額 13,763,587,229円

資産のうち固定資産は、有形固定資産及びその他の固定資産合わせて714.4億円で、前年度末比22.1億円増となりました。これは、新たに第2号基本金および第3号基本金特定資産の組入れ及び上述債券投資が主な要因です。流動資産は、現金預金142.2億円、未収入金90.4億円等、計242.1億円。総資産は前年度末比3.7億円増の956.5億円となりました。

負債のうち固定負債は、長期借入金の約定返済等により前年度末比8.9億円減の180.6億円となりました。流動負債は、未払金が増加要因で前年度末比1.1億円増の106.7億円となり、負債合計は、前年度末比7.8億円減の287.3億円となりました。

※財産目録や財務比率等含めた事業報告書は、本法人の情報公開規程に従い、西宮キャンパス総務部総務課において、開示請求を受付けております。

■開示請求に関する連絡先 学校法人兵庫医科大学 総務部 総務課 TEL 0798-45-6532

◆表彰・受賞など

◆馬場 明道 兵庫医療大学 前・学長に兵庫医療大学 名誉学長 称号を授与

長年に亘り医療総合大学としての確固たる基盤を固め、兵庫医療大学の発展に寄与したとして、その功労を顕彰するため、兵庫医療大学 馬場 明道 前・学長に、兵庫医療大学名誉学長の称号を授与しました。



馬場 明道
兵庫医療大学名誉学長

◆兵庫医科大学 名誉教授 称号授与

兵庫医科大学の教育もしくは学術上の功績が特に顕著であった先生方に対して、その功労を顕彰するため、名誉教授の称号を授与しました。2019年の称号授与者は次の4名です。



増山 理 名誉教授
内科学 循環器内科



藤元 治朗 名誉教授
外科学 肝・胆・膵外科



吉矢 晋一 名誉教授
整形外科



難波 光義 名誉教授
内科学 糖尿病・内分泌・代謝内科

◆兵庫医療大学 名誉教授 称号授与

兵庫医療大学の教育もしくは学術上の功績が特に顕著であった先生方に対して、その功労を顕彰するため、名誉教授の称号を授与しました。2019年の称号授与者は次の2名です。



岩崎 剛 名誉教授
薬学部



竹田 千佐子 名誉教授
看護学部

◆新家 莊平名誉理事長と難波 光義理事が「兵庫県功労者表彰」を受賞

2019年5月3日、兵庫県から「兵庫県功労者表彰」の受賞者についての発表があり、本法人の名誉理事長である新家 莊平が「県勢高揚」功労部門、前・兵庫医科大学病院長で理事の難波 光義が「健康」功労部門の功労者として表彰されました。



「県勢高揚」功労部門で表彰された
新家 莊平 名誉理事長



「健康」功労部門で表彰された
難波 光義 理事

◆兵庫医科大学 内科学 腎・透析科 蓮池 由起子講師が「公益社団法人日本女医会 第4回 溝口昌子賞」を受賞

2019年5月19日、兵庫医科大学 内科学 腎・透析科の蓮池 由起子講師が「第4回 溝口昌子賞」を受賞しました。この賞は、公益社団法人日本女医会が2013年に逝去した溝口昌子先生（皮膚科医）の遺志により寄付された基金から、女性医師のキャリアアップと永年勤続を目的として設立されたもので、2015年より臨床、研究、教育、社会活動などに尽力している女性医師1名に毎年授与されています。蓮池講師は、学校法人兵庫医科大学 男女共同参画推進室の構成員として、女性職員のキャリア継続支援にも努めています。



受賞スピーチを行う蓮池講師



授賞式の記念写真
（後列左：蓮池講師）

◆兵庫医科大学 整形外科 井石 智也助教が「John J. Joyce Award (First place)」を受賞

2019年5月16日（現地時間15日AM10:00）、兵庫医科大学 整形外科の井石 智也助教がメキシコ・カンクンで開催された「The 12th Biennial ISAKOS CONGRESS 2019（国際関節鏡・膝外科・スポーツ整形外科学会）」にて「John J. Joyce Award (First place)」を受賞しました。「John J. Joyce Award (First place)」はスポーツ関節外科の中で歴史ある賞であり、日本人がFirst Place（第1位）を受賞したのは、14年ぶり3人目となります。

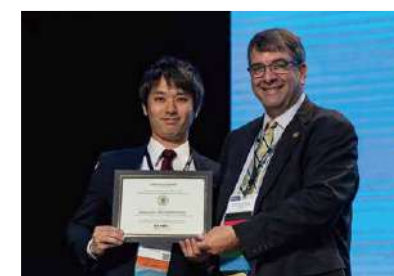
受賞演題：
Absence of Ligament Progenitor Cells in the Pediatric Knee Anterolateral Complex.



演題発表（右：井石助教）



記念写真
[右から：井石助教、Musahl教授（井石助教米留学中の上司・Pittsburgh大学 整形外科）、吉矢先生（兵庫医科大学 整形外科 前・主任教授）]



表彰式（左から：井石助教、Safran 学会長）

◆ 人事情報



兵庫医科大学
内科学 呼吸器科

栗林 康造 教授（2019年7月1日就任）

この度、兵庫医科大学 内科学 呼吸器科の木島貴志主任教授の御推挙を賜り、同教授を拝命致しました。私は1995年に本学を卒業後、当時の内科学第5講座に入局させていただき、呼吸器・アレルギー疾患の臨床に従事し、2001年同大学院に進学し学位を取得致しました。大学院終了後は、腫瘍性疾患（肺癌・中皮腫）を中心とした臨床・研究を行い、朝日大学歯学部内科学教授（2011年-2014年）を経て、現在に至ります。今後も、誠実さと向上心をもって、教室運営ならびに母校の発展に貢献できるよう精進する所存ですので、何卒よろしくお願い申し上げます。



兵庫医療大学
薬学部

桂木 聡子 教授（2019年6月1日就任）

2019年6月1日付けにて、薬学部医療薬学科臨床薬剤学分野の教授を拝命いたしました。
時代のニーズの変化や医療だけでなく、さまざまな社会現象の変化により、現在の薬剤師に求められる役割は、広く深くなってきております。病院・薬局・地域医療・外国人医療・災害医療等の現場経験を踏まえ、次代を担う薬剤師の育成のために、知識だけではなく思いやりを胸に、考え行動できる人材の教育を心掛けて参る所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

理事の異動

次のとおり理事の異動がありました

新任（6月1日）	兵庫県健康福祉部健康局 健康局長	味木 和喜子	辞任（5月31日）	東京都中央区保健所長	山本 光昭
----------	------------------	--------	-----------	------------	-------

評議員の異動

次のとおり評議員の異動がありました

			辞任（6月30日）	兵庫医科大学教授	石蔵 礼一
新任（6月1日）	兵庫県健康福祉部健康局 医務課長	元佐 龍	辞任（5月31日）	兵庫県健康福祉部健康局 健康局長	味木 和喜子
新任（6月1日）	西宮市副市長	田村 比佐雄	辞任（5月31日）	前西宮市副市長	掛田 紀夫
新任（7月1日）	神戸市立医療センター 中央市民病院 放射線診断科 部長	石蔵 礼一			

◆ 財団法人等各種団体による研究助成金等の交付状況

(単位:円)			
助成団体名	研究課題名	研究者	交付額
日本脳神経血管内治療学会	広範囲の初期虚血性変化を有する脳主幹動脈急性閉塞症に対する血管内治療の有効性に関するランダム化比較対照試験	吉村 紳一 主任教授 (兵庫医科大学 脳神経外科学)	500,000
(公財)ひょうご科学技術協会	コリンPETによる泌尿器悪性腫瘍の新しい治療効果判定システムの確立	北島 一宏 准教授 (兵庫医科大学病院 放射線医療センター 核医学・PET診療部)	1,000,000
(公財)ひょうご科学技術協会	リンパ管新生から見た肝動脈塞栓術後の再発メカニズム解明と治療への応用	高木 治行 講師 (兵庫医科大学 放射線医学)	1,000,000
日本私立学校振興・共済事業団	カルシニューリン阻害薬との合成致死剤のケミカルゲノミクス研究	萩原 加奈子 助教 (兵庫医療大学 薬学部)	400,000

◆ 学校法人兵庫医科大学基金 兵医・萌えの会 状況報告

みなさまからのご協力に感謝し、心より御礼申し上げます。

2009年7月1日～2019年6月30日						
区分	受配者指定寄付金		特定公益増進法人		合計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
申込	374	80,005,000円	2,583	173,730,498円	2,957	253,735,498円
入金	373	79,905,000円	2,577	173,560,498円	2,950	253,465,498円
寄付申込者ご芳名・法人名一覧(50音順)						
2019年4月1日～2019年6月30日						
企業等法人（4法人）						
●ご芳名のみ（2法人）						
阪神消毒サービス 様						
有限会社宝塚新樹園 様						
（匿名2法人）						
緑樹会・後援会・その他個人（142名）						
●ご芳名・金額記載（14名）						
大橋 鐵雄 様	10,000円	西原 力 様	20,000円	飯田 久美子 様	熊本 茂美 様	高田 京子 様
岡 哲夫 様	50,000円	野毛 伴江 様	500,000円	飯田 俊一 様	小松 寛子 様	田中 節子 様
澤田 雅好 様	50,000円	畑中 良子 様	500,000円	石本 恭子 様	坂下 尚美 様	玉木 明美 様
田中 幸雄 様	5,000円	八木 信吾 様	50,000円	今仲 俊彦 様	阪本 治男 様	玉木 琴子 様
中島 育代 様	10,000円	八木 素子 様	10,000円	今仲 智代 様	佐藤 角夫 様	玉木 桜子 様
長嶋 正晃 様	50,000円	山崎 一男 様	50,000円	河合 勲 様	佐藤 由紀子 様	玉木 武士 様
永沼 不二夫 様	50,000円	渡邊 みち子 様	50,000円	川井田 徳義 様	島田 幸司 様	玉木 真澄 様
				岸田 英治 様	下村 葉子 様	寺田 直子 様
				木島 喜世子 様	信達 憲治 様	利倉 暁央 様
				岸本 安廣 様	瀬尾 多嘉子 様	利倉 彩織 様
				北川 令子 様	瀬尾 宏郎 様	利倉 幹央 様
						（匿名86名）

詳しい活動報告に關しましては、学校法人兵庫医科大学（兵医・萌えの会）のホームページをご覧ください。<https://ssl.hyo-med.org/>

◆主な行事予定(8月～10月)

8月		
8日	兵庫医科大学病院	第20回阪神沿線健康講座
8・9日	兵庫医科大学	オープンキャンパス
10日・12日・24日・25日	兵庫医療大学	オープンキャンパス
23日～25日	学校法人兵庫医科大学	HANSHIN健康メッセ2019
24日	ささやま医療センター	ささやま老人保健施設 納涼祭
28日	兵庫医療大学	社会人スキルガイダンス (リハビリテーション学部 4年次)
29日・30日	学校法人兵庫医科大学	チーム医療演習(兵庫医科大学3年次・兵庫医療大学4年次 合同演習)
31日	兵庫医療大学	キャリア探求セミナー (リハビリテーション学部理学療法学科・全学年)
9月		
2日～6日	学校法人兵庫医科大学	チーム医療演習(兵庫医科大学3年次・兵庫医療大学4年次 合同演習)
7日	兵庫医科大学病院	兵庫医科大学病院 第5回市民健康フォーラム
9日～11日	学校法人兵庫医科大学	早期臨床体験実習(兵庫医科大学1年次・兵庫医療大学1年次 合同チュートリアル)
14日	兵庫医療大学	秋季学位授与式
14日～15日	兵庫医科大学	研究医コースコンソーシアム合宿
28日	兵庫医療大学	大学院I期入学試験
28日	兵庫医療大学	総合型選抜(AO入試)一次試験
10月		
1日	学校法人兵庫医科大学	認定看護師教育課程(手術看護分野)入学式
5日	兵庫医療大学	保護者懇談会
10日・11日	兵庫医療大学	大学認証評価実地調査
13日・14日	兵庫医療大学	第12回海鼻祭
13日	兵庫医療大学	ホームカミングデイ・同窓会(海鼻会)
15日	兵庫医科大学	兵庫医科大学篤志解剖体慰霊祭
20日	兵庫医療大学	総合型選抜(AO入試)二次試験

耳や鼻の中をのぞいてみよう!

お口とかむ動きを学ぼう!

無料の健康チェックラリーもやってるよ!

ミクロの世界で好きなものを見てみよう!

整形外科の治療を体験してみよう!

阪神電車ブースもあるよ!

子どもも大人もみんなで「医療・健康」を楽しく体験しよう!

なるほど医学体験

HANSHIN健康メッセ

～遊んで学んで広がる健康の絆～

2019.8.23(金) 13:00～18:00

2019.8.24(土) 10:00～18:00

2019.8.25(日) 10:00～17:00

入場無料

会場 ハービスHALL 大阪市北区梅田2-5-25ハービスOSAKA B2F (阪神梅田駅(西改札)より徒歩6分)

イベントの詳細はホームページをチェック! <https://kenko-messe.com> 健康メッセ Q

なるほど医学体験

HANSHIN健康メッセ

～遊んで学んで広がる健康の絆～

2019

主催

なるほど医学体験! HANSHIN 健康メッセ実行委員会

共催

阪急阪神ホールディングス株式会社

後援

大阪府、兵庫県、大阪市、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市、大阪市教育委員会、神戸市教育委員会、尼崎市教育委員会、西宮市教育委員会、芦屋市教育委員会、大阪府医師会、兵庫県医師会、神戸市医師会、日本病理学会、日本口腔外科学会、日本整形外科学会、日本耳鼻咽喉科学会、兵庫県歯科医師会、神戸市歯科医師会

特別協賛

ココカラファイン

神戸大学

学校法人兵庫医科大学

(兵庫医科大学病院・兵庫医療大学)

阪神電車

HANSHIN ELECTRIC RAILWAY

未来のまち

未来のまち

未来のまち

私たちは、未来へつなぐ(人づくり)として HANSHIN 健康メッセを応援します

— PROUD —

プラウド芦屋西蔵町

《新発表》

芦屋の、新しい選択。

海と山の真ん中に居心地のいい、芦屋がありました。

白砂青松と謳われた美しい風光の面影を今に伝えながら、心地よい住環境に感じられる場所。

先人たちが愛した、風光明媚な芦屋に暮らすライフスタイルを、さらに洗練し総94邸に込めたレジデンスの姿。

新しい時代を暮らす、芦屋の新しい選択。この街に、「プラウド芦屋西蔵町」は誕生します。

南向き中心

開放的な三方角地

芦屋フラット生活圈

市立宮川小学校
市立精道中学校

※総94邸中、約80%が南向きとなります。

《フラットアプローチ》

阪神本線

「打出」駅徒歩11分 (約840m)

阪神本線「打出」駅より

「梅田」駅へ21分・「神戸三宮」駅へ13分

※「西宮」駅で特急乗り換え

※「芦屋」駅で特急乗り換え

現地周辺の街並み / 徒歩4分(約270m)

モデルルーム案内会開催中 [予約制]

■「プラウド芦屋西蔵町」物件概要●所在地／兵庫県芦屋市西蔵町96番1(地番)●交通／阪神電鉄阪神本線「打出」駅徒歩11分●敷地面積／4,281.97㎡●用途地域／第1種中高層住居専用地域●建築確認番号／第BCJ18大建確064変1(平成31年3月29日付)●構造・規模／鉄筋コンクリート造 地上5階建●総戸数／94戸●販売戸数／未定●間取り／3LDK・4LDK●専有面積／69.87㎡～96.40㎡●バルコニー面積／8.72㎡～13.55㎡●竣工予定時期／2020年6月下旬●入居予定時期／2020年7月下旬●販売予定価格(税込)／未定●管理形態／区分所有者全員で管理組合を結成後、運営・管理業務は野村不動産パートナーズ株式会社に委託予定●販売開始予定時期／2019年9月中旬●分譲後の敷地の権利形態／専有面積割合による所有権の共有●事業主(売主)／野村不動産株式会社 西日本支社[国土交通大臣免許(13)第1370号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟]〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目4番4号(野村不動産四ツ橋ビル15階)フリーダイヤル:0120-06-6522●施工／株式会社長谷工コーポレーション※記載の専有面積等は全戸に対してのものです。※販売戸数等の未確定部分につきましては、本広告時で表示いたします。●広告制作日／2019年6月21日

予告広告 | 本広告を行い取引を開始するまでは、予約・契約の受付は一切できません。また申込の順位の確保に関する措置は講じられません。本物件は一括して販売するか、分割して販売するか未定です。(販売開始予定時期／2019年9月中旬)

※掲載の完成予想図は、計画段階の図面に基いたもので実際のものと異なる場合があります。また、今後変更になる場合があります。尚、外観の細部・各設備機器・配管類等は一部省略又は簡略化しております。掲載は特定の季節の状況を示したものでなく、施工時には完成予想図図面とは成長していません。タイルや各種部材につきましては、実物と質感・色等の見え方が異なる場合があります。敷地周辺の電柱・橋脚・看板・ガレージ等は一部省略又は簡略化しております。※徒歩分は、80mを1分として計算(直線距離)した概算時間です。距離表示は現地からの地図上での概算距離です。※掲載の交通所要時間は日中平常時(9:30～17:30)各駅間の平均所要時間(乗換回数)上りを記載しています。(2019年1月15日時点)※直通特急・特急・急行・快速急行利用時の分岐となります。※時間帯により所要時間は多少異なります。乗り換え・待ち時間は含まれておりません。※掲載の周辺写真は、2019年4月～5月に撮影したものです。※掲載の情報は今後変更になる場合がございます。予めご了承ください。

事業主(売主)

あしたを、つなぐ ― 野村不動産グループ

野村不動産

●ご来場予約・お問い合わせは「プラウド芦屋西蔵町」マンションギャラリー

0120-535-094

営業時間／平日10:00～17:00(土・日・祝)10:00～18:00 定休日／毎週水・木曜日、毎月第2火曜日(祝日を除く)

資料請求は公式サイトから

プラウド芦屋西蔵町

検索

25 兵医広報 vol.247

兵医広報 vol.247 26

学校法人 兵庫医科大学

建学の精神

社会の福祉への奉仕
人間への深い愛
人間への幅の広い科学的理解



西宮キャンパス

兵庫医科大学 兵庫医科大学病院

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
☎0798-45-6111(代)
<https://www.hyo-med.ac.jp/> (大学)
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/> (病院)
<https://www.corp.hyo-med.ac.jp/> (法人)

兵庫医科大学

健康医学クリニック

〒663-8137 兵庫県西宮市池開町3番24号
☎0120-682-701
<https://www.hyo-med-kenshin.com/>



神戸キャンパス

兵庫医療大学

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6
☎078-304-3000(代)
<https://www.huhs.ac.jp/>



篠山キャンパス

兵庫医科大学

ささやま医療センター

〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡5番地
☎079-552-1181(代)
<https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

兵庫医科大学

ささやま老人保健施設

兵庫医科大学

ささやま居宅サービスセンター

〒669-2321 兵庫県丹波篠山市黒岡36番地
☎079-552-6840(代)
<https://www.sasayama.hyo-med.ac.jp/>

<広報誌の送付先変更や配送停止に関するお問合せ>

学校法人 兵庫医科大学 広報誌

兵医広報 vol.247 (2019 SUMMER)

発行日/2019年7月25日

発行元/学校法人兵庫医科大学 総務部 広報課

【兵庫医科大学 卒業生(緑樹会会員)の方】

兵庫医科大学 同窓会緑樹会

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号

兵庫医科大学 教育研究棟3階

☎0798-45-6448 (平日13:00~17:00)

【兵庫医療大学 卒業生の方】

兵庫医療大学 キャリアデザインセンター

〒650-8530 兵庫県神戸市中央区港島1丁目3番6

兵庫医療大学 キャリアデザインセンター

☎078-304-3100 (平日8:30~17:00)